箱根は第二のふるさと

恵明学園小学校　六年　遠藤　凛恩

ぼくは入院していました。半年入院していました。病院は横浜にありました。横浜は箱根より森が少ないです。箱根は横浜より空気がおいしいです。箱根は横浜より山菜が多いです。楽しい行事もたくさんあります。横浜で長い間入院して箱根のよい所にたくさん気づきました。

もともと相模原に住んでいましたが、箱根にひっこしして、「本当によかったな。」と思っています。だけど、そんな箱根をよごしてしまうのが、『ゴミ』です。ぼくはたまに外出をして車の中から周りを見ると、ゴミが捨ててあったり、一ヶ所に集まっていたりします。それを見てぼくは「このままゴミがあったら未来はどうなるのかな。」と考えます。

毎年春にライオンズクラブの方々と早川のあじさいの手入れをしています。早川のあじさいの手入れをしていると、ゴルフボールやテニスボールなどが落ちていて、「なんで自分達で拾わないのかな?」と不思議に思います。たくさんのゴミを見て箱根がかわいそうだと思いました。ぼくの好きなきれいな箱根をなぜよごすのだろうと思いました。

そこでお願いがあります。どうかこのきれいな箱根をみなさんでボランティア活動やゴミ拾いなど進んでやってみてください。そしたら、この箱根はもっときれいになり、みなさんの気持ちもうれしさであふれておたがいに仲よく楽しさがあふれると思っています。

ぼくはきれいで楽しさあふれる箱根を作ることを願います。そして未来はもっと楽しくもっときれいになると最高です。みなさん少しずつボランティア活動やゴミ拾いなどをやりましょう。そしたら自分達も気持ちがよくなるし、外国からくる観光客も気持ちがよくなります。ゴミのないきれいな箱根として有名になってほしいです。そうなるように、みなさんでこの箱根をきれいにし、緑を守っていきましょう。